平群史蹟を守る会　# 会　報　（2025／2）

2025(令和7)2月例会ご案内

～大阪市北西方面の文化財を巡る～

　大阪市の北部、「天満の天神さん」から中央公会堂、「適塾」、薬の町（道修町）の「少彦名神社」を経て、御堂筋沿いの「北御堂」、「南御堂」、「松尾芭蕉終焉の地」、等をめぐります。この辺りは船場（せんば）と呼ばれ、かつて大阪商人が活躍した所です。

　寒い時期ですが、外に出て、日曜日のビル街を歩きましょう。

日　　時　　**令和7年2月9日（第2日曜日）**

コース

大阪地下鉄 南森町駅(集合場所)～～大阪天満宮～～大阪市中央公会堂 ～～適塾(昼食)～～少彦名神社～～御霊神社～～北御堂(西本願寺津村別院) ～～松尾芭蕉終焉の地～～坐摩神社～～南御堂(東本願寺難波別院)～～ 難波神社(解散場所)～～大阪地下鉄 本町駅 ～～徒歩　＿＿＿印 トイレ所在

◆ **行　　　　　程** ： 約５ｋｍ　（平坦な街中を歩きます）

◆ **集　　　　　金** ： 適塾参観料一人　４００円（２０人以上団体　３００円）

◆ **解散場所／時間** ： 難波神社／15 時頃（予定）
（大阪地下鉄「本町駅」まで約 300m）

◆ **服　　　　　装** ： 弁当、水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・ 服装で

◇ 雨　天　中　止

前日の午後 8 時 45 分の NHK ニュースの中の天気予報で、奈良県北部の午前中降雨確立 60%以上であれば中止

不明の時は河本まで（携帯 080-6112-3406）

◆ 全員集合場所／時間 ： 大阪地下鉄南森町駅東改札口を出てすぐ右手
ドラッグストア「ココカラファイン」前 ／ 午前 10時 5分

《交通機関のご案内》

生駒線から

王寺	9:01
竜田川	9:07
平群	9:10
元山上口	9:12
東山(奈良県)	9:15
萩の台	9:17
南生駒	9:19
一分	9:21
菜畑	9:23
生駒 (のりかえ)	09:25着 09:31発
谷町四丁目 (のりかえ)	09:53着 09:57発
南森町	**10:01着**

天王寺方面から

（地下鉄 谷町線）

天王寺	9:49発
（大日行き）	
南森町	10:01着

大阪駅方面から

（地下鉄 谷町線）

東梅田	10:00発
（八尾南行き）	
南森町	10:02着

2025年1月例会(1月12日）報告
～春を呼ぶ今宮戎神社・周辺七福神・通天閣巡りと会食～

担当/杉本・繁田・河本

朝方は小雪がちらつく雪雲に覆われていたが、最初の訪問先「**四天王寺布袋堂**」に着く頃には、青空となり風もなく日射しがある史跡巡り日和となる。布袋堂は、その昔に聖徳太子の乳母がこの場所に住んでいたことから乳布袋尊と呼ばれ、女性の乳がんなど胸の悩みを聞いて下さり女性の信仰が篤い仏様である。乳母は一説には蘇我馬子・物部守屋・小野妹子の娘の三名であったとの俗説もある。

四天王寺西門鳥居を抜けて緩やかな長い下りが続く歩道を西へ進む。(この坂道は「逢坂」といい、上町台地の斜面にある天王寺七坂の1つ）途中、一心寺を左側、通天閣を左前方に見ながら30分程度で「**今宮戎神社**」に到着。1月８～10日までは10日戎で賑わい、境内は祭りの片付け・撤去作業で煩雑だったが、参拝者も結構多かった。蛭子神や事代主神と繋がる恵比寿神の由来、そして七福神の中で唯一の日本古来の神であるとの説明後に正面本殿(南側)に参拝して裏拝殿（北側）に向かう。参拝者の多くが大阪の中心街・繁華街がある北方面から訪れ混雑する本殿よりも北側に位置する裏拝殿で参拝する「裏参り」という特別な風習が昔からあり、ここには直径 1m 以上の銅鑼が拝殿の左右に設けられて、これを叩いて恵比寿神に参拝を知らせる。(10日戎中は銅鑼に覆いを被せ、本日も使用禁止)。

次に民営市場の「**大阪木津卸売市場**」へ、本日は休業日で建物外観のみの見学。江戸時代から300年の歴史があり「食い倒れの街、大阪の台所」として大阪市民を支えてきた。特に1931年(昭和6年)には当時の市長の計画で「一都市一市場原則」があり、民間市場の統合閉鎖の危機を乗り越えた時代があった。また江戸時代の大坂中央部は三郷（北組・南組・天満組）による三ツの組の共同組織が形成されて、各組毎に船場地域があり、さらにその中を町で区画割りされて日本一の商業、商人の町として栄えていたとの説明もあった。そして七福神の中で大黒天を祀る「**大国主神社**」へ、インドヒンズー教のマハーカーラ神が中国に伝わり仏教の大国天となり、日本に伝来し天部の仏として大国となる。一方、日本独自の神教で「古事記」には大国主神が登場する。神の大国主と仏の大国が神仏習合から同一の神として大黒天が生まれ祀られた。

予定通りのスケジュールを終え、「**かごの屋**」にて会食、歩き疲れと空腹感が、内の暖房と暖かな食

事で和ませてくれる。喉を潤すビールを注文する会員もおられ団欒のひとときを過ごす。

会食後一次解散組と別れて「**通天閣**」真下に到着。1921年(明治45）にパリの凱旋門とエッフェル塔を参考にして建造、「天に通じる高い建物」の意味から通天閣と命名した。周辺は若者や家族連れで賑わい、通天閣を背景にカップルや幼児を乗せたベビーカーのママ友達がスマートホンで記念写真を撮り観光地化している。釜ヶ崎暴動で悪イメージしか持たない昭和熟年族の会員には考えられない光景であった。

ここで本日は解散、天候に恵まれて七福神の内、三神(布袋・恵比寿・大国)に参拝を済ませ本年最初の例会を無事に終えた。高層ビルの間から見え隠れする通天閣を振り返りながら、帰途についた。

（参加者20名）

企 画 部 報 告

《剣上塚プロジェクト》

昨年４月に剣上塚古墳の案内板設置を目的としたプロジェクトを発足し、検討を進めてきましたがようやく構想がまとまり、次年度の総会に提案して承認されれば実施ができる段階にこぎ着けました。

案内板の具体的な構造等はここではお伝え出来きませんが、内容は古墳の発掘調査報告と出土遺物の写真や墳丘測量図が画かれたもので、案内板は墳丘西側裾部・竹林手前に建てます。

これによって武具など豊富な遺物を出土した竪穴式石室を持つ平群町では最古とも称される剣上塚古墳に日が当たることを期待しています。（河本）

みんなのひろば

下見あれこれ

史跡見学など歩く例会は、あらかじめ担当役員による下見が本番実施の約３ヶ月前に行われます。目的は実際に歩いて見学先の資料・情報を集めたり、行程のなかで危険個所等を調査し、当日会員を安全にスムーズに案内することです。

見学予定先を訪ねて閉鎖や移転していることもあります。見学先は前回訪問から10年以上経った所を選ぶのが原則で相手が代替わりしているのが普通ですが、中には20年以上前の訪問時のことを覚えており、歓迎されることもあります。

下見はルート決定、会食場所の選定、当日のガイドなど苦労も多いですが、一足先に自由に例会先を楽しむ役得もあります。

最近下見者同士が話していることは ３ ヶ月前に下調べした道に自信が持てないことがあることで、これも歳のせいかと言っています。

下見は役員に限りません。会員の中で、年間スケジュールをみていただいて、ここなら案内できると言う方があれば是非参加ください。　（緑ヶ丘　河本）

※編集部では会員のみなさんの投稿をお待ちしています
（俳句・川柳・紀行文・日頃の生活など内容を問いません）

平群史蹟を守る会